

32歳

安政6年(1859)1月25日

謹慎中 こっそり羽根突き

将軍継嗣問題^{けいし}をめぐる政争に敗れた春嶽は、前年7月に隠居と急度慎^{きつ とつしみ}を命じられ、江戸藩邸で厳しい謹慎生活を強いられていました。しかし、徐々に詩吟や蹴鞠^{けり}などの「御慰^{おなぐさみ}」を行うようになり、安政6年の正月から2月にかけては表を締め切って、中庭や座敷で何度が「つくばね(衝羽・突羽)」を楽しんでいたようです。



左:勇姫(26歳), 右:松平春嶽(32歳) 画:みなせ @ambujam10



みなせ
@ambujam10



本日の鉛筆落描きは「つくばね」される松平春嶽公with奥方・勇姫様。隠居謹慎中の安政6年正月25日

「八時過北御内庭二而つくばね御慰在之」

「御側向頭取御用日記」(福井県文書館)より

御側付きの人と楽しまれたのかかもしれませんが謹慎中は食事も含めよく奥様とご一緒されるのでこちらも一緒に♪

Note

- ・つくばね…突羽根=羽根突(はねつき)。
- ・奥様とご一緒…一緒に楽しんだ可能性はあるが、誰と「つくばね」をしたかまでは資料から読み取れない。

2021年5月5日